

障がい児教育 20 年、市議 19 年

福祉・教育の充実は 私の使命です。

みなさんに支えられ、子どもや高齢者、障がい者など、社会的に弱い立場の人たちの声を市政にとどけ、学校の改善や特養ホーム増設を実現し、住み良い南地域にも力をつくしました。

これからも、介護や福祉、教育の充実に全力をあげます。ぜひ市政で働かせてください。

町田市議会議員（5期）

お元気
ですか

細野りゅう子

細野りゅう子

検索



ご意見・ご要望は、電話 042-723-6312 メール machida.jcp@seagreen.ocn.ne.jp

新しい町田

号外

2018年1・2月 日本共産党町田地区委員会の見解を紹介します。
発行●新しい町田社 〒194-0022町田市森野3-7-46

日本共産党

安倍9条改憲ストップ！

20年間のとりくみが実る

ついに全学校のトイレがきれいに

古くて汚い和式トイレから、キレイで快適な洋式トイレへ——町田の学校トイレの改修がついに完了します。ここに来るまでには、いつでも細野さんの努力がありました。

はじまりは、子どもの声から

「トイレが臭くて、家に帰るまでがまんしている」——20年前、細野さんに寄せられたのは、小学校1年生の声でした。初当選し、議員になって調べると、学校の子ども用トイレは3K(臭い、汚い)といわれるほどの実態でした。

どうすれば改善できるか——京都に行つて解決策見つけ、市長に迫る

細野さんはどうすれば改善できるか必死に考えました。市は最初は学校全体を改修する時に「と言つて消極的。細野さんは京都にトイレを改修した例があることを知り、自分で視察に行き、きれいになったトイレの写真をかざして、市長に改修を迫りました。

最初の改善、子どもたちから歓声

そして、ついに町田でも改修が行われるようになりました。改修された学校では生徒らが「ホテルみたい」と歓声をあげました。

ピンチを乗り越えて

その後、トイレ改修は市の計画になりましたが、ピンチが来ます。国の補助金がストップしたのです。細野さんら共産党市議団は、国に補助金を出すよう求める意見書を議会に提出し、細野さんの必死の努力で、全会一致で採択。市も努力し、トイレ改修は予定通り17年度までに全校で100%完了することになりました。

昼夜問わず、弱者に寄り添う「情熱の人」

——鶴間 折原トミさん

「トイレの細野さん」と言われるくらい活躍している細野さん。昼夜を問わず弱者に寄り添い、西へ東へ奔走、解決に力を発揮する細野さんは、岩手大学教育学部で学んだこと、大先輩の宮沢賢治「雨にも負けず」そのもの「情熱の人」です。



真っ先に改修された町田二中のトイレ

今度は中学校給食を

全員に、小学校と同じ

細野りゅう子は全力

20年前から実現を迫る

世論の力で、「弁当給食」開始

中学校給食の実施も、トイレと同様、細野さんが20年前から求めてきました。最初は市はまったくやる気のない態度。変化し始めたのが2000年代になってから。市民の運動と細野さんの追及が力を發揮し2006年度に弁当方式での「学校給食」がはじまりました。第一歩でした。

小学校と同じ、全員給食こそ



ところが市は、さらに前に進もうとしません。最初は利用率が50%近くあった弁当給食も、今ではわずか15%に。市民、父母から小学校と同じように全員に温かくておいしい給食をの声が広がっています。なんとしても実現するために全力をあげます。

細野りゅう子
「私は、くじけない」



町田の介護と 医療の改善に執念

同僚議員から「いつもケータイで生活相談にのっている」と言われる細野さん。介護や病気、年金などの相談は本当に深刻です。細野さんは困っている人の生の声をぶつけて、あきらめずに、市政に対策を迫ってきました。

特養ホーム増やす 認知症対応グループホームも

老々介護や介護離職など介護の悩みは深刻です。細野さんは特養ホームの「待機者」の深刻な実態を示し追及してきました。最初は「特養ホームを増やすと介護財政が大変」と言っていた市も、独自の補助金制度をつくるなどの改善のなか、特養ホームの増設が進むようになりました。最近4年間で295人分増えました。（成瀬や鶴間地域でも増設が実現しました。）

また認知症対応型のグループホームの増設も迫りました。

高齢者支援センターの体制拡充

細野さんは、在宅介護支援の要となっている高齢者支援センター（市内12カ所）の人的、財政的支援の拡充を要求。市は経費を加算しました。

重度障がい者の 通所施設が実現

医療の必要な重度障がい者も通える施設は医師との連携、看護師の常勤が必要です。そうした施設の実現めざし努力した細野さん。昨年、「花の家」に設置されました。

子どもの保険証とりあげやめさせる

「国民健康保険税が払えず保険証がとりあげられ、医療にかかれないと」——こうした悲鳴にこたえ、細野さんは子育て世帯からの保険証とりあげはやめさせました。これは今も続いています。



年金で入れる特養ホーム 福祉充実に全力



新都議
池川さんと力あわせ

日本共産党・細野りゅう子



- プライバシーに配慮した多床室などの設置により、年金で入れる特養ホームを
- 預けて安心、安全な認可保育園の増設
- シルバーパスの負担軽減、都県境の使用など改善を
- 高すぎる国民健康保険税1人年1万円の引き下げ
- 介護保険料、利用料の軽減
- 学校給食費の無償化を
- 後期医療保険料の値上げ中止を
- 孤独死・孤立死防ぐ見守り対策を

困っている声に耳をかたむけ 一緒に考え支えてくれた細野さん

——沢野あきさん(仮名)

給与が減り、家賃が給与の半分近くになり、無年金で持病もある高齢の母を抱えて悩んでいました。そんな時、細野議員のチラシを手にし、思い切って電話しました。忙しい中、細野議員は、一つ一つの問題にきちんと耳を傾け、一緒に考え、アドバイスや行動により、私を支え助けてくださいました。いつも弱者の立場に立つという姿勢は、決してぶれることはありません。とても心強く感じます。

細野りゅう子
「私は、くじけない」



住み良い南地域へ

細野さんは、南地域の代表として、便利で、緑豊かな、住み良いまちづくりに全力をあげました。

鶴間公園の緑を守るために奮闘

3年前、南町田駅南口の再整備計画がもちあがりました。

細野さんはさつそく市議会でとりあげ、計画に住民の意見や思いを反映するよう主張。その後、何度もとりあげてきました。緑を守り、さらに図書館など住民が願う施設整備など、全力をあげます。

今後も住民の利益守って活躍してもらいたい

——南町田 梶原さん

町田市は東急とくんで工事を大々的に進めています。細野市議には意見交換やアドバイスをもらい、市議会でも問題点を指摘し、住民の意見をよく聞くよう要請してくれました。今後も住民の利益を守って活躍していただきたいと思います。

西田、鶴間のスポーツ広場守れと奮闘

スポーツ広場を調節池にする東京都の計画について、「地域からスポーツする場所がなくなってしまう」、「工事のために住宅地内を大型ダンプが走るのは怖い」などの声が寄せられ、こうした声を市にも届け、存続のためにとりこんできました。

暗い通学路に街灯。なくなったポストもどる

南町田と成瀬で「通学路に街灯がなく怖い」との声が寄せられました。すぐに市に届け、街灯の新設と、既設の蛍光灯取り替えが実現。

「西田団地の入り口にあったポストがなくなり不便」との声を郵便局に届け、設置されました。

町田駅ゆきバス大型に

南町田駅から町田駅までの路線バスの増便の声をうけ、神奈中バスとも交渉し、増便はまだですが、バスが中型から大型になりました。

成瀬駅とローゼン前に駐輪場ができ、うれしかった

——成瀬 中山かよさん

成瀬駅北口に駐輪場を増やしてと細野さんに話しました。さっそく市にも掛け合ってくれ駐輪場ができました。さらに相鉄ローゼンの買い物客用の無料駐輪場があればと、また細野さんに相談しました。市に相談してくれ、ローゼン前に新しく駐輪場ができ、とてもうれしかったです。

これからも
みなさんと
力あわせて

日本共産党・細野りゅう子

新都議



池川さんとともに

- 南町田に図書館を
- 西田、鶴間のスポーツ広場の存続を
- 路線バス・コミュニティバスの路線や便数を増やします
- 住み続けられる都営住宅へ
- バス停の屋根やイスの設置
- 緑を守り、雨水を浸透、活用させるまちづくり促進
- 国道を横断する歩行者の安全、バリアフリーの促進



細野りゅう子
「私は、くじけない」



岩手県出身

障がい児教育20年

細野りゅう子の原点

おおらかな性格。

白血病で亡くなつた同級生

細野さんは岩手県の北上川の近くで育ち、河原に寝転んで、夕日を見るのが好きな少女でした。このころから「おおらかで日だまりのよう」な性格でした。小学校6年生のときに同級生が白血病でなくなりました。入院中も何度もお見舞いにゆき弔辞も読んだといいます。福祉の仕事がしたいとの思いが芽生えました。

障がい児教育を通じて

「この子らを世の光に」を胸に

町田で障がい児学級の担任になりました。はじめはとまどいばかりでしたが、真剣に向き合つなか、その子の感じていることが伝わつてくるようになりました。「私は、障がい児から、たくさんの大切なことを教わりました」と語る細野さん。障がい者が輝く社会は、すべての市民にとっても希望の社会——福祉や教育の充実にとりくむ原点です。

細野りゅう子プロフィール
●1955年岩手県生まれ。岩手大学教育学部卒。緑ヶ丘小学校教諭、都立町田養護学校教諭、町田第二小学校教諭。●1998年に市議会議員初当選（党市議団副団長、幹事長、現在5期目）。建設常任委員会委員、国民健康保険運営協議会委員。●家族は母、夫と1女。鶴間在住。

細野りゅう子の活動地域：
小川1～7丁目、つくし野1～4丁目、南つくし野1～4丁目、鶴間1～8丁目、南町田1～5丁目、金森1～7丁目、金森東1～4丁目、南成瀬1～8丁目、成瀬が丘1～3丁目、成瀬6～8丁目

16年間、毎月 「みなみ民報」発行

細野さんは、地域のみなさんと一緒に、毎月、地域新聞「みなみ民報」を発行。「地域のこと、市政のこと」がよくわかる」と評判です。

